

新任監査部長/内部監査人向け 及び プロ監査人へのスキルアップ講座 (初級/中級)

本社及び子会社監査の基本 (監査の着眼点)

- 日時 : 2019年4月25日(木) 9:30~17:00
- 会場 : BERC 研修室 (東京都港区赤坂 1-1-12 明産溜池ビル 8 階)
<BERC事務局>TEL : 03-6441-0640
- 会費 : 会員10,800円、非会員32,400円(消費税込)
- CPE : CPE 8単位が付与されます
- 申込み : 監査部会参加申込みと同じ (不明な場合は上記BERC事務局へお問い合わせ下さい)

本研修セミナーは、新任監査部長/監査人向けだけでなく、プロ監査人へのスキルアップの為の基本講座の位置付けでありますので、ご関心のある方を広く募集いたします。

今回 ご希望がありましたので、トピックス扱いですが、「**本社監査**」も追加してご紹介いたします。

昨今の連結経営時代の下、分権化が徹底されればされるほど、経営トップは事実上全権把握が困難な状況となります。従って、このような状況下で、不正・不祥事が発生すると経営トップの辞任リスクが高まりますので、これからは企業集団としての不祥事等の未然防止こそ、トップマネジメント自らが最も関心を持たねばなりません。

また、会社法上の企業集団内部統制はグループ経営戦略上も強化が求められており、経営戦略の立場からも、効果的なグループ子会社監査が不可欠となりつつあります。従って、企業集団としての不正・不祥事止やグループ業績向上に貢献する業務監査・経営監査の必要が叫ばれる中、本研修では、プロ監査人に必要な本社及び子会社監査を事例として、着眼点や留意点を分かりやすくご紹介いたします。一部上級編の内容も区分してご紹介すると共に監査ノウハウや監査事例迄詳細にわたり解説し、皆様の実務にお役立ちできるものと確信いたします。

なお、今回レジュメとして提供する「基本的な監査チェックリスト」については、実務上、監査頻度の高い国内/海外子会社監査を事例として、「監査上の押さえるべきポイント」をご紹介予定。

講師:吉田 邦雄(よした くにお) 日本内部監査協会講師、CFE(公認不正検査士)

中央大学法学部卒業、富士ゼロックス(株)入社。法務、経理、企画、生産畑を歩み、生産企画部、経営監査部(いずれも部長職)、この期間、長野ゼロックス監査役などを兼任、その後、(株)ポーラ・オルビスHD 内部監査室部長歴任。現在、経営倫理実践研究センター(BERC)上席研究員。(株)経営監査研究所取締役社長。法務/コンプライアンス、ガバナンス、リスクマネジメント、経営監査、不正調査、海外子会社監査、東証上場審査対応、J-SOX実務対応、持株会社監査、事業計画監査、海外 M&A 買収後監査、IT ガバナンス監査、監査の品質評価プログラム、BCP 対応、CSR/CSV 監査研究等 20 年以上実務専門家として監査/不正調査に従事。日本内部監査協会「2003~2019 年度実務演習」「監査役監査研究会 2005 年 2 月・3 月例会」各講師及び「2006~2019 年度内部監査士認定講習会」講師、そして企業研究会「これからの経営監査を考える会」運営幹事。また、ACFE JAPAN、神戸大学大学院(経営学研究科)等大学院、日本公認会計士協会、日本監査役協会、民間大手企業、財務省を始めとする中央官庁等において講演/コンサルティング/執筆活動も行っている。論文・著書等: 2004 年『富士ゼロックスの倫理・コンプライアンス監査』東洋経済新報社発行、2006 年『経営監査機能強化とグループ会社監査体制の確立』企業研究会研究叢書 No.133 分担執筆、2006 年『月刊監査役 8 月号』及び『日経情報ストラテジー 9 月号』“日本版SOX法対応に関する緊急提言”共同執筆、2012 年 BERC 編『実践!コンプライアンス上級編』への協力執筆 PHP エディターズグループ発行、2015 年『月刊監査研究 8 月号』“経営監査の高付加価値化”<CSVと経営監査>発表、2017 年『月刊監査研究4月号』“経営監査から見た不正防止への考察”他。2017 年『月刊監査役 7 月号』監査役全国会議パネルディスカッション登壇。2019 年文部科学省支援「これからの科学技術者倫理研究」BERC/金沢工大公開討論会『日本企業の不祥事』と題して CNN、NHK パネラーらと共に企業実務家の立場から基調講演、パネルディスカッション参加。

目 次

9:30

1. 新任監査部長/監査人が先ず学ばねばならないこと

- IIA「内部監査の定義」「国際基準」「倫理綱要」
- 内部監査の基本的役割

2. リスクアプローチによる監査計画策定

- 定性的アプローチと定量的アプローチ
- リスクの評価尺度、評価方法およびリスクマップ

3. 国内外子会社監査の留意点

- 国内外子会社監査のキーポイント（参考資料参照）
- 海外関係会社の進出形態別監査
- 海外コンプライアンス監査の留意点
- リスクの高い海外子会社（監査指摘事項事例）
- チェックリスト基準、書面監査および深掘監査

11:50

<昼休み>

12:40

4. 基本的な子会社監査チェックリストと着眼点

棚卸資産管理、購買・外注管理、販売管理、人事・労務管理、個人情報管理、情報システム管理、固定資産管理、物流管理、研究開発管理、製造管理、経理、コンプライアンス、孫会社管理他

5. 監査部長(CAE)としての役割

- 経営トップ/役員との人間関係づくり、非常事態発生への対応
- 外部ステークホルダーからの信頼性向上と内部監査高度化への挑戦
- 優秀な監査資源の確保および人材育成

6. トピックス

- 本社監査の重要ポイント
- 戦略に対応する監査及び本社テーマ監査の留意点
- 本社部門監査の着眼点
企画部、経理部、人事部、情報システム部

17:00

★ 質疑応答含む「意見交換会」(3回程度::時間割参照)

★ 参考資料（上級者向け詳細資料:必要の都度紹介）

- 海外子会社監査の業務フローチャート(中国子会社ケース)
- 中国子会社監査チェックリスト
保稅取引、増値稅發票、中国契約書、贈収賄罪、中国不正の特徴等
- 国内外子会社監査のキーポイント
- 外国贈賄罪(米国、英国、中国、香港、ロシア、インド、インドネシア等)
- 自己監査の推進と書式事例
- 内部監査の位置付け — ガバナンス2形態のメリット&デメリット
- ソフトガバナンスの重要性
- 3つの監査の違い(業務監査/経営監査/監査役監査)
- 経営監査ベンチマーク